陳情第１２０号	受理年月日	令和８年９月１日
付託委員会	都市ブランド教育委員会	
件　　名	北九州市におけるオーガニック給食導入に関する陳情について	

要　旨

私たちは、約10年前から農業生産者の方々とともに、黒崎オーガニック野菜マルシェを毎月開催している。10年前はお客様はわずかだったが、現在はお客様も大変増えてにぎわっている。

オーガニック野菜マルシェを主催している中で、北九州市の子供たちの学校給食も可能な限りオーガニック給食へ少しずつシフトできたらと希望を持ち、有機野菜農家のリアルな声も聞きながら活動している。

数年前に、昭和館にてオオタヴィン監督による「夢みる給食」というドキュメンタリー映画を見て、そして登壇させていただき、日本国内でもオーガニック給食が実現しているという現状を知り、さらに希望を持った。北九州市政に関わる皆様には、「夢みる給食」を一度見ていただきたいと強く思っている。この上映を機に、オーガニック給食推進の署名活動をスタートした。多くの方々の協力により、署名が2,000名ほど集まった。多くの方々の声を届け、北九州市において、是非オーガニック給食の実現を図るために、北九州市議会への陳情を行うこととした。

子供たちの体づくりに欠かせない学校給食を、可能な限り、少しずつでも、地域の農家と連携しながらより安心安全な無農薬・無化学肥料の食材を使用した給食へ移行していただくことを願う。

現在の北九州市における学校給食はＡ、Ｂ地区で統一されており、全てをオーガニック給食に移行していくのは、難しいこととは承知はしている。その中でも、将来的に、より素材における質が高く、健康的な地産地消の材料を使用した給食へ向かうために、下記のとおり陳情する。

陳情事項

１　主食のお米をはじめ､無農薬･無化学肥料の食材を取り入れること。

２　ＰＴＡ、専門家、農業者、管理栄養士、市民、大学、教育委員会などで構成する「オーガニック給食の実現を目指す協議会」を設置する

（続　く）

こと。

私たちの心と体は、そばにある環境で作られ、その環境は子供たちの体づくりに最重要なものである。学校給食は、子供たちの心身が最も成長する時期において、１日３食のうちの１食を担う最も欠かせないものである。未来を担う子供たちの健やかな成長と免疫力向上は、北九州市の未来へもつながると考える。

将来的なオーガニック給食実現に向けては、生産者や教育機関、流通などを含め、多くの方々の連携・協力が必要になると考える。また、農林水産省が進める、わが国の持続可能な食料システム戦略に向けて、2021年５月に「みどりの食料システム戦略」が策定され、全国的にオーガニック給食導入の流れが広がっている。

子供たちの食を取り巻く状況と共に、今、求められている持続可能な農業・環境問題も大きく関与するものと考えている。北九州市の食・農業・環境問題を、更に発展させていく大きな礎になるものと考えている。

子供たちの「夢見る給食」のために、議員の皆様のお力添えをいただきたい。